



使い方とご注意

ここでは原稿作成の際の作り方の手順と、使用方法を説明しています。
ブラッシングなど、その他の作業手順についてはお手持ちのTシャツくんシリーズ各取扱説明書をご参照ください。

1. インクジェットプリンタで印刷します

インクジェットプリンタ専用紙です(コピー機、レーザープリンタなどは使用できません)

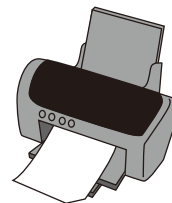
原稿作成の際、線やベタ面は必ずモノクロ(黒一色)で作成してください

- この用紙には裏表があります。より白い方が表面で印刷に適しています。(縦位置右上の切りカキが目印)
- インクジェットプリンタでの印字はドット表現なので画像のアウトラインは多少シャープさに欠けます。
- プリンタの種類や印刷モード、インク、ドライバソフトなどにより画像精細さや、印字品質が異なります。
- 使用するプリンタにより濃淡の差が出ることがあります。各プリンタの取扱説明書に従い、濃度調節を行ってください。
- テスト印刷の場合は普通紙で印刷し、この用紙は仕上げ用の出力用紙としてご使用することをお勧めします。
- プリントの際は、印刷カラーモードがモノクロ(グレースケール)になっているかご確認ください。

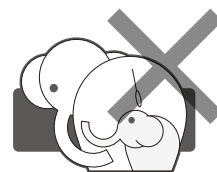
インクを十分に乾燥させてから次の作業に移ってください

- 用紙が波打ったり、インクが乾いていないとキレイな製版が出来なくなります。
- 印刷後、インクのにじみや用紙の汚れなどが無いか確認してから使用してください。
- 原稿の色の濃さを確認してください。薄い文字、図案はキレイに製版が出来ません。
- 黒色が薄い場合は黒ペン(顔料インクタイプ)で塗り直してください。

表



縦位置の右側に切りカキがある方が表面(印刷面)です

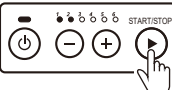
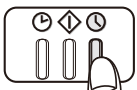


※線、塗り部分の黒色が薄い
※線幅が1mm未満

2. 原稿用紙にスプレーのりをかけ、スクリーン版に貼って製版機で露光させます

製版機のタイプ、使用するスクリーンメッシュの種類によって露光時間が異なります。

- インクジェット専用原稿用紙は、コピー・手描き原稿用紙に比べ分厚いため、長時間露光する必要があります。
- 露光時間を間違えると、スクリーン全体が崩れたり、図柄が浮かんでこなかったりします。

製版機のタイプ		露光方法	スクリーンメッシュの種類			
			230M	120M	80M	60M
スクリーンプリントキット Tシャツくん	ボタン 4個タイプ		露光時間を設定し、向かって右側の「START/STOP」ボタンを押します。	露光時間		
	ボタン 3個タイプ		向かって右側の「インクジェット用」ボタンを押します。	露光回数 1回		
	ボタン 3個タイプ		向かって右側の露光スタート/ストップボタンを押します。	露光回数 1回		
	ボタン 1個タイプ		1回目の露光が終わり、ランプが消えたらフタを開けずに再度スタートボタンを押して露光を行います。	露光回数 2回	露光回数 3回	
スクリーンプリントキット Tシャツくん Jr.	タイマー 設定タイプ		タイマーをそれぞれの設定に合わせてから、スタートボタンを押します。	タイマー設定 M	タイマー設定 L	
	ボタン 1個タイプ		1回目の露光が終わり、ランプが消えたらフタを開けずに再度スタートボタンを押して露光を行います。	露光回数 3回	露光回数 4回	
スクリーンプリントキット Tシャツくん WIDE			タイマーをそれぞれの設定に合わせてから、スタートボタンを押します。	タイマー設定 3分	タイマー設定 4分15秒	

※露光回数とは、スタートボタンを押す回数のことです。

例) Tシャツくん(ボタン1個タイプ)で120Mのスクリーンを露光する場合、フタを開けずに計3回スタートボタンを押してランプを点灯させたら、露光終了となります。

この後の作業は、コピー・手描き原稿用紙と同じです(詳しくは各取扱説明書でご確認ください)